（様式1）

平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 025	**提案機関名**	農業技術センター横浜川崎地区事務所

要望問題名

シクラメンの群馬県栽培指標の現地実証について

要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

群馬県では、樹液診断を利用したシクラメンの栽培指標を作成し、現地で一定以上の品質のシクラメン生産に効果をあげている。当管内でもその栽培指標を取り入れていきたいと考えているが、当県の栽培環境、用土では、その指標にあわせるとどのような施肥管理となってくるか確認していただきたい。

また、鉢上げ後、1～2ヶ月は植物体が小さく樹液の採取が困難なため、排出液の診断で管理するが、群馬県では排出液の硝酸態窒素が20～50ppmで管理することとなっている。しかし、管内の従来の管理からみるとそれは高すぎると捉えられる。（当県での気候、昨型、用土等の条件を考慮したうえでの適切な排出液の硝酸態窒素濃度について検討していただきたい。

解決希望年限	①1年以内　②2～3年以内　③4～5年以内　④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター　②畜産技術所　③水産技術センター ④自然環境保全センター
備　考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	**担当部所**	果樹花き研究部

対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名 （①、②、④の場合）

対応の内容等

群馬県の樹液診断を利用したシクラメンの栽培指標を基に管内の従来からの栽培管理方法やシクラメンの生育状況、個々の生産者の用土等に合わせて硝酸態窒素の濃度を検討して行くことが最適であると考えますので現地対応としていただきたい。

解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備　考	